風と遊ぼう

時　期	いつでも
時　間	1時間
場　所	校庭

○風を受けて，物が揺れたり，なびいたり，回ったり，進んだり，くっついたりする体験をする。
○風のはたらきに興味をもつ。

ねらい

知　る
・風遊びを通して，風は強さによってはたらきの大きさが変わることに気付かせる。
・風のはたらきに興味をもち，科学的に追究していこうとする態度を養う。

活動展開例

第3学年　理科「風やゴムのはたらき」

準備物	・新聞紙　・渦巻き状に切った紙の中心にPEテープをつけたもの　・紙テープで作った輪 ・異なる長さに切った紙テープ　・紙テープにクリップを付けた「はね」		
	時　間	活　動　内　容	留　意　点
展開	事　前	○風の強い日に，新聞紙を持って校庭に出る。（体にくっついてしまうことを体験する。） ○風を受けて遊ぶものを作る。	・天気のよい，風の強い日を選んで実施する。
	35分	○いろいろなものを使って，風を受けて遊ぶ。 ・渦巻き状の紙などを持って走りながら，風になびかせる。 ・テープの輪やクリップ付きのはねを投げ上げて遊ぶ。 ・長さを変えた紙テープを風の通り道につないでおき，風の強さによってなびく長さの違いを観察する。	・十分に遊ばせることにより，風の強さとはたらきの関係に気付かせる。遊びだけで終わることがないようにする。 ・長さを変えた紙テープは，長さごとに色を変えると，風の強さとテープのなびき方との関係が分かりやすい。
	10分	○教室に戻り，風遊びで感じたことや分かったこと，これから調べたいことを発表し合い，学習計画を立てる。	・体験から感じたことを話し合わせて，風の強さとはたらきの関係を調べる学習計画を立てさせる。

活用ガイド

○活動の様子

本活動で児童が投げて遊んだ紙テープ類

○実施した効果(活動を振り返って)

いろいろな風遊びを体験することにより，いつもは気に留めない空気の存在やその流れを感じることができた。また，テープのなびき方や回り方は，風の向きや強さが関係することに気付くことができた。

○参考

風車，ゴム風船モノレールなどで風遊びをすることもできる。

本プログラムの作成において参考とした文献

○永井　昭三 監修　「じっけん・はっけん！かがくあそび　つくってみよう・5 かぜとふうしゃ」
桐原書店（1985）

中学年